

実行委員長のあいさつ

大園 絢斗（大原中卒業）



本日、二十歳のつとめ式典を迎えることができ、関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

また、私たちの門出をこのような形でお祝いしていただき、誠にありがとうございます。

これまで二十年間育ててくれた家族、時には優しく、時には厳しくご指導して下さった先生方、いつもあたたかく見守って下さった地域の方々、そして、共に笑い、共に泣き、切磋琢磨しあった仲間たち、多くの方々の支えがあってからこそだと思います。改めて感謝申し上げます。

二十歳という、ひとつの節目を迎えた今日、こうして友人と再会することができ、大変嬉しく思っています。中学校を卒業して5年という短い時間ですが、一人一人の過ごしてきた時間を感じることができ、とても胸が熱くなると同時に、とうとう私たちも大人の仲間入りなんだと改めて実感しています。

これまでは周りにいる様々な人々に支えてもらい成長してきた私たちですが、これからは、一大人として、周りの人や地域のために自分にできること、自分がすべきことを考え、行動していかなければなりません。

これからの長い人生、目まぐるしく変化する世の中で、悩むこと、苦しむこともたくさんあるでしょう。まだまだこれから先、長い長い人生が続いていく中で成功も失敗もやってきます。失敗は何かを失う原因にはなるけど、失敗は敗北ではないと私は思います。失敗から何かを得れば、次への進歩になると思うからです。誰にでも明日が絶対にあるとは限りません。1日1日を大切に生きて、ここにいる多くの仲間と助け合い、支え合い、乗り越え、何事にも前向きに挑戦していけたらいいと思います。皆さんは決してひとりではありません。周りには共に生きる心強い仲間がたくさんいます。その仲間が必ず背中を押してくれます。

これからも人との関りを大切に、私たちに関わってくださる方はもちろん、生まれ育ったこのふるさと「小郡」へ感謝するとともに、自分も誰かの支えとなるような立派な社会人になれるよう、日々、頑張っています。

簡単ではございますが、実行委員会代表のあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。